

10月は職業奉仕月間です。職業奉仕はわかりにくいと言われますが、職業奉仕とはどのようなものなのか、ということに焦点を当ててみました。



写真は、上からハイチ、ブラジル、タイのロータリークラブで実施した職業訓練です。



# 職業奉仕

■ RI 会長メッセージ

# 職業奉仕こそ 超我の奉仕の実践



SERVICE Above Self

Carl-Wilhelm Stenhammar  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
2005-06 RI 会長 スウェーデン・イエーテボリ RC

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

人々はそれぞれが事業や専門職務の栄えある代表としてロータリークラブに入会します。したがって、それぞれのクラブ会員は、仲間のロータリアンに対してそれぞれの職業の代表としての義務と、仕事の場でロータリー精神を実証する義務を負っています。これら二重の責任は職業奉仕の基盤となっています。

## 四つのテストを本気で採用すべきとき

何年にもわたって、ロータリアンたちは、ロータリーの四大奉仕の第2に当たる職業奉仕をうまく表現しようと努力してきました。というのは、職業奉仕は定義が非常に難しいからです。この重要な奉仕の存在にさらに焦点を当てようと、RI 理事会は10月を職業奉仕月間に決めました。

私たちの奉仕の第2世紀を始めるに当たって、より高い倫理基準を確立するという点で、職業奉仕はこれまでも増して重要となります。私たちの組織が始まって以来、ロータリアンたちは悪しき商習慣をやめさせ、人々の信頼を回復させてきました。それぞれの地域社会や企業のリーダーとして、ロータリアンたちは地域の人々や仕事仲間の尊敬を勝ち得てきました。近年、企業の不祥事や信用のおけないインターネット上の取引が増加する状況下において、ロータリアンたちは人々が信用するに足るサービスを提供することができます。

倫理は、私たちのどのような行動にも必要ですが、特に事業において重要です。今こそ私たち全員が「四つのテスト」を本気で採用すべきときです。「1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか」という四つの質問を注意深く読めば、成功に必要なすべての要素がそこにあることを私たちはすぐ見つけ出すことでしょう。

## 職業奉仕で青少年を導く

職業奉仕は、若い人々が将来の職業を身につけるにあたり手助けするいい方法です。学生たちは面談や職場実習によって、特定の職業や専門職務についてより深く学ぶことができます。ロータリークラブは商工会議所や地域の会社と連絡を取り、従業員教育、基礎的知識の訓練、雇用相談、履歴書の準備など、就職のために必要なものを用意することができます。

多くの国々で、私たちは若年層の失業率の増加を目の当たりにしています。仕事に就くあてのないまま毎朝目を覚ますということは、気持ちをとても落ち込ませるものです。この問題は、青少年たちが、自分を取るに足らない人間だと思い、絶望し、さらには彼らを犯罪行為にまで追いつめかねません。

ロータリアンは若い人々が仕事をもち、社会人としての生活を、安心して始める環境を整えるに足る手段と能力をもっています。私たちは彼らに情報を与え、教育し、訓練することもできます。地域社会のリーダーとして、私たちはすでに最も重要な要素、すなわち、主導権が必要とされる、ほかのグループや組織との関係をもっています。

青少年のための多くのプログラムを通して、私たちは職業奉仕で青少年を導くことができます。青少年は私たちの未来です。そして職業奉仕は、私たちすべてに役立つ、よりしっかりとした基盤づくりの鍵といえるでしょう。

職業奉仕は、人々がより良い人生、より良い社会規範、より良い世界を築くための手助けとなります。職業奉仕こそは、私たちの標語「超我の奉仕」を実践するためのすばらしい手段なのです。

Carl-Wilhelm Stenhammar  
2005-06年度 国際ロータリー会長

# 四つのテスト——

## 世界的に引用されている 職業倫理の声明

2004—05年度国際ロータリー会長  
グレン E. エステス

2005年4月30日  
R I 会長主催祝賀会議基調講演



ご参会の皆さんの温かいご歓迎を感謝いたします。今朝、この東京で皆さんとお話しできますことは、私の喜びであり、特に、これほど多くのロータリアンがお集まりの場で、国際ロータリー（R I）の最も重要な議題の一つであり、皆さんの職業面において今日の最優先である「職業倫理」について討論が行われますことを、とてもうれしく思っております。

### ロータリーへの信用は共に勝ちえたもの

ロータリーは単純な目的から創立されました。最初は、故郷で培ってきたような友情と友愛をもつことのできない実業人のための、親睦クラブとしてつくられました。彼らの心には、奉仕を通じて世の中を変えようという思いはそれほど強くなかったのですが、やがて、この奉仕という分野がクラブの基本的な活動目標の一つとなりました。

最初のプロジェクトは何であったでしょうか？ 馬が死んで困っていた地方の牧師さんに馬を提供したことです。馬がいないと、その牧師さんは自分の教区を巡回できません。そこで、ロータリークラブはその牧師さんに1頭の新しい馬を提供しました。これは、大きなことも、こういったほんの些細なことから始まるという事実を示しています。

それ以来、幾星霜を経てロータリーは大きくなりました。そして、ロータリーの善行をすることができる力も拡大してくるにつれ、世界中でロータリーのイメージも自然に良くなってまいりました。それから20～30年後に、イギリスのウィンストン・チャーチル首相（当時）は「自由主義諸国で、ロータリークラブがどんな善いことを行っているかを知らない人はほとんどいない」と述

べたのです。

目に見える行いには大きな責任が伴います。ロータリアンとして、私たちは、世の中からすばらしい信用を勝ち得ております。その信用は、私たち一人ひとりではなく、世界中のロータリアンが、それぞれのもち場、職場においての、誠意にあふれた奉仕活動や正直で立派な行いによって、共に勝ち得たものなのです。

### ロータリーのバッジは信用の証し

一人ひとりの活動によって、すべてのロータリアンが信頼を得ることとなり、それと同様に、ロータリアンの誰かの行為によって、私たちすべてが信用を失うこともあるのです。

ルイス・ビセンテ・ジアイ元R I会長の子息、グスタホ・ジアイさんは、韓国ソウルで行われた1989年のR I国際大会に参加後、父親と一緒に旅行している間に、次のような印象的な経験をしました。グスタホさんは、このように語りました。

「国際大会の後、父と私が東京の街を歩いていると、一人の日本人男性が父の胸に着けていたロータリーのバッジを見つけ、立ち止まって、“あなたはロータリアンですか？”と英語で聞いてきました。父は答えました。“そうです、私はロータリアンです。ところで、あなたはロータリアンですか？”“はい”と答え、二人は握手しました。その人は、私たちを自分のレストランに招待してくださり、私たちは昼食をごちそうになりました。2時間ほど、その方の奥さまも一緒に、私たちをあたかも長年の友人のようにもてなしてくださいました。このことは、私が今まで経験したことのないような国際的な友情で、強く印象に残っています」

それは、また、ロータリアン同士がどれくらい信用しあっているかを推し量る出来事でもあったのです。グスタホさんの父親は、それから7年ほど後にR Iの会長に就任しました。ですから、東京で会ったその人は、当時、ジアイさんがどんな人か知るよしもなく、ただ、ロータリーのバッジを着けていたことだけが、その人を知るすべてでした。

このようなことがあるのですから、私たちは毎朝ロータリーのバッジを上着の襟元に着けるときには、いつもバッジのもつ意味をちょっと考えておく必要があります。上着にロータリーのバッジを着けて一步外に出ると、皆さんの言行はより一層大きな意味をもつことになるのです。皆さんがどんなことをしても、世間の人々は、皆さんをロータリアンとして見ています。世間は皆さんをロータリーの会員として判断します。つまり世間の人々は、皆さんを通じて、ロータリーというものを評価するのです。

ロバート R. パース元R I会長は、何年も前に、ロータリーのバッジを着けている人は次のようなメッセージを発信していると述べております。

すなわち、

私を信頼することができます。

私を頼りにすることができます。

私は信用に値します。

私は受け取るよりも多くを与えます。

私はいつでもお手伝いします。

ロータリーのバッジがそのようなメッセージを送っているという事実は、長年にわたってロータリアンたちの勝ち得た信用の証しです。今日のような実業界の風潮においては、世間から信用され続けることが、ロータリアンとしての私たちの責任であることを今まで以上に肝に銘じておかなければなりません。

### 倫理的な決定を下すのは易しいことではない

私たち一人ひとは、日々、無数の倫理的な決断をしています。私たちの多くは、機械的にその決断を下しています。お店でおつりを多くもらい過ぎたとき、それを正直に返します。私たちは、同僚が机に置いた財布を盗んだりはしません。電車に乗るときには切符を切ってもらいます。その日に車掌がいるからではなく、私たちはいつもそのようにしているからです。

これらは決定を下すというほどのことではありません。機械的にできる行為であり、正直な人々の行いです。また、そうあらねばならないのです。

しかしながら、倫理的な決定を下すことは多くの場合、

そんなに簡単なことではありません。雇われている者として、最も忠実であるべきなのは、雇用者に対してでしょうか、それとも、顧客に対してでしょうか？ 真実でないことを言うのは、果たして妥当でしょうか？ あなたの従業員に評判が悪いとわかっているような決定を下して正当だとされるのは、どのような場合でしょうか？

ロータリーの早い時期から、ロータリアンは、専門職業人として、高い倫理基準を推進することに取り組んできました。世界的に最も広く印刷され、引用されている職業倫理の声明は、「四つのテスト」です。これは、後にR I会長になったロータリアンのハーバート J. テーラーが、破産の危機に直面していた企業再建を引き受けた1932年に提唱したものです。

24の単語から成る倫理基準を示した「四つのテスト」は、1943年にR Iに採用されました。100以上の言語に翻訳され、さまざまな形態で出版されているこのテストは、4つの問いかけから構成されています。すなわち、

言行はこれに照らしてから

1) 真実か どうか

2) みんなに公平か

3) 好意と友情を深めるか

4) みんなのためになるか どうか

一見、簡単な文ですが、これは、私たちが日常遭遇する倫理問題の99%に適用できると考えております。

ロータリアンであるジム・オルダーソンさんの物語はよく知られています。モンタナ州の小さな病院の管理者であったジムさんは、保険会社用と院内用の二重帳簿の作成を拒否したために、17年間勤務した職場を解雇されました。

ジムさんは、その病院を経営するヘルスケア会社を相手に、連邦地裁へ内部告発を行いました。また、彼は、その会社もっているほかの多くの医療センターにおいても、このような非倫理的な会計処理がなされていることに気づきました。不正請求によって政府は何百万ドルも支払うこととなり、その間、そういった不正会計処理を行っていた会社の収益は増え、株価も上昇していたのでした。

訴えられた会社は、腕利きの弁護士を何人も雇い、何百万ドルも費やし応戦してきました。ジムさんは、孤独な戦いを強いられ、自分の時間を使い、自分自身の蓄えで訴訟を続行しました。ジムさんは仕事に就くこともできず、自分の専門職の間からはのけ者にされました。家族は11回も転居を余儀なくされ、電話番号を電話帳に

掲載するのもやめました。家族の安全も脅かされました。その間、ジムさんの所属しているロータリークラブは彼を援助して避難場所を提供しました。

10年後、ついに政府は、ジムさんの訴訟事案やそれに類似した二十数件近くの訴訟事案に関係した当該の医療経営会社に不利な判決を下しました。アメリカの連邦保健・福祉長官の計算によるとそれ以後の保険の不正請求額の減少で、110億ドルの損失が避けられたとのことです。

## それでも四つのテストに照らして

すべてが終わった後、ジムさんは、正しいことをしたという満足感を持ちました。その後、ジムさんは次のように述べています。

「何回も何回も自問しなければなりません。なぜ自分はこんなことをしているのだろうか？」と。お前は、なぜだかわかっているわけじゃないだろう。自分の仕事、自分のキャリア、自分の蓄え、そして今まで働いてきたすべてのものを失ったかもしれないとお前と子どもたちが認めたとしても、もしお前が子どもたちの尊敬を失っていたら、取り返しのつかないことになっていたでしょう。私は、たとえ、それがどのような結果になろうとも、子どもたちから目をそらすことなくまともに向き合っていたかったし、真実と正直こそが大切なのだと教えたかったのです」

ジムさんは、毎日の仕事の中に「四つのテスト」を採り入れていました。彼は、自分が求められていることがそのテストにかなっていないと知り、自分が正しいと思っていることを実行しようと奮闘したのです。

私たちの多くは、このような犠牲を強いられることはありませんが、ジムさんに起こったことは、日常生活のすべてにおいて、私たちの考えや言行に、「四つのテスト」を組み入れることがいかに大切であることを示した事例でしょう。皆さんにはご記憶のことと思いますが、私は、さきほど、「四つのテスト」は私たちの倫理面におけるジレンマの99%に適用できるとお話ししました。100%とは言っておりません。「四つのテスト」は一つの道具です。私たちが、何が正しいかを定める状況分析に役立つ一つの方法なのです。

時には、何が正しいのかははっきりしないことがあります。何が、本当に、みんなのためになるかどうかを決めることができないこともあります。一生懸命に努力しても、好意と友情を深めることができない場合もありますし、誰もが満足できないような決定を下さざるを得ない状況もあるわけです。

それでも、私たちは、物事の決定について「四つのテスト」に照らしてみる責任がありますし、また、私たちは職業生活にロータリーの善意をあてはめるように最善を尽くす責任があるのです。このようにすれば、私たちは100年にわたってロータリアンが現在までに勝ち得た信用を、引き続きもっと強固なものにしていくことができるでしょう。

私は、ロータリー100周年のときにRI会長として奉仕できたことをとても光栄に思っています。ちょうど2か月前に、ロータリーはとても輝かしい節目のときを迎えました。それは、ロータリー100周年記念日です。こんなに長く生きながらえている組織はほとんどありません。ロータリーは生存しているのみならず、発展してきたのです。私は、立ち止まって、ロータリーがどこで始まり、今、どこに存在するかに思いをめぐらすとき、ただ、ただ、驚嘆するのみです。

## 4人が120万人へ

1つの事務所に集まった4人のクラブが、世界中のほとんどの国に広がって120万人の会員をもつ組織にまで拡大していくなどと、想像することができた人などいたでしょうか。また、わずかに米貨26ドル50セントから始まったロータリー財団が、昨年の実績では8,600万米ドルの金額を教育的、人道的な資金として、また、ポリオ撲滅のために支出するところまでできたことも、誰も想定しなかったことです。

もし、皆さんが時をさかのぼり、シカゴの最初のロータリークラブの最初の例会に行き、そこに居合わせた人々に、ここで今日何が起きているかを話したとしましょう。私には、そこにいる誰一人として皆さんの話をまじめに受け取るとは、到底思えません。

100年近くを経て、結果が出せるかどうか定かでないとしても、ロータリーは積極的な活動をするという理念を基盤としてきました。必要なところに援助を与え、倫理的な態度の輝かしい手本を示し、ロータリーを、世代を超えて強固なものにしているボランティア精神を発揮してきたのです。

そして、この会場を見回し、ロータリーという多くのの人々に多くの奉仕をし続けてきた組織に深いかわりあいをもっておられる大勢の皆さんを拝見していると、私は、ただ、すべてのテーブル、すべての席に座っておられる友人の皆さん、そして、ロータリアンである皆さんの一人ひとりと顔を合わせているだけではなく、ここに、もう一つのロータリーをお祝いするすばらしい理由がわかるのであります。



# アイデアの誕生

## 職業奉仕は いかにして生まれたか

チェスリー R. ペリー

THE ROTARIAN 1980年5月号より

き競争」「他人にやられる前にやれ」「大衆は地獄に落ちろ」というような考え方が支配的な時代でした。競合者は敵であり、もし、彼らを実業界から追放できたら、自分にとって好都合だと考えていたのです。アメリカは“利己主義で早い者勝ち”という激烈で情け容赦ない“ビッグ・ビジネス”が発展した時代の終わりでした。

1893年、シカゴでコロンビア博覧会が開かれていたころ、法律を学んでいる若い学生がバーモント州からアイオワ州へ向かう途中、1週間シカゴで過ごしました。「せわしないの都会の騒々しさと邪悪な雰囲気の不思議な魅惑に私はとりつかれました」と、彼は後で述べています。

それから数年後、彼ポール・ハリスはその魅力にひかれ、たくましく進歩的で、矛盾に満ちたこのシカゴに、金儲けのためでなく、生涯を過ごすために戻ってきたのでした。

### 芽生えてきた新しい理念

ここで弁護士事務所の看板を掲げたポール・ハリスは、仕事に精を出すかたわら、友人をつくることに努力しました。誠実な人々との友情の上に成り立つ温かい触れ合い、それこそが彼が最も望んだものでした。

やがて彼は新しいクラブをつくりました。友情を深めること、そして商売を発展させることの2つを目的としたクラブをつくったのです。これが現在、8,500(1955年当時、2005年5月末は3万2,292クラブ)を数えるロータリーの最初のクラブです。その時代に同業者を友好的に集めるのが困難であることを知っていたポールは、会員を各事業あるいは専門職業から1人ずつに限ることによって、クラブの雰囲気を明るいものにしました。こうして見知らぬ人たちではあるが、しょうばいがたき商売敵を含まないサークルをつくったのです。

人々がこの最初のクラブに加わった動機は、主に何か商売上うまい話があるのではないかというものでした。

ポール・ハリスを除いてロータリーの草創期の発展に最も貢献した人物といえば、チェスリー(チェス)R.ペリーをおいてほかにいません。チェスはシカゴロータリークラブの初期の会長を務め、ロータリークラブ国際連合(国際ロータリーの前身)の初代事務総長に就任、以後32年間(1910～42年)事務総長としての務めを果たしました。

この記事は1955年、ロータリー創立50周年に際し、アメリカ・イリノイ州ラサル(シカゴの西南西120km)で開催されたロータリー実業関係会議でのチェスの講演記録を抜粋したものです。それから50年を経た今もなお、彼の言葉はロータリアンにとって意義あるものです。

『ロータリーの友』には、3回目の掲載となります。職業奉仕月間の今月、あらためて、その原点にさかのぼってみてください。

50年前(1905年)、商工会議所も、同業組合も、共同募金も、赤十字社も、そしてボーイスカウトも産別労組も存在していませんでした。ラジオやテレビは言うに及ばず、飛行機もなく、自動車もほとんどありませんでした。所得税も、女性の投票権もなく、ここに参加の皆さんのほとんどは、生まれていなかったでしょう。

### 利己と悪意に満ちた時代

そうした時代のシカゴに、友情とビジネスを結び付け、それによってビジネスも栄え、友情も深めることができるのではないかというアイデアをもった一人の男が現れました。このアイデアは、少なくとも当時のアメリカ人一般の考え方と違ったものでした。1905年当時、上流社会では、ビジネスのことを口にするのははばかられるような風潮がありました。

「ビジネスはビジネス」「買い主が注意せよ」「仁義な



最初の「ロータリーの綱領」が採択された1912年の大会

親睦、職業を異にする人たちと知り合う機会、そして他の人々を思いやり助けようという新しい理念——友好的で競合関係のない雰囲気の中で、彼らはこのクラブの価値を見だし、満足さえ感じるようになったのです。会員たちは若かったので、報奨を求めることなく、他人のために何か役立つことをするというアイデアにすぐ魅力を感じたのでした。

ポールがその著『My Road to Rotary (ロータリーへの私の道)』に書いています。「創立当初のロータリアンは、優しい心と友好的な精神からにじみでるあらゆる方法で、お互いを助けあいました。主として、ビジネスのなかでお互いを助け、成功するように援助し合うことに努力が傾けられました。その方が良いとされる場合には、お互いに顧客となり、必要な場合にはお互いに相手のためになるように力を貸したり、助言を与えたりしたのです」

しかしながら、初期のロータリアンのすべてが、天使のような仲間ばかりであったというわけではありません。現に、正すべき商慣行があったのも事実です。たとえロータリアン仲間であっても、最高の品質とはいかない商品やサービスを取り扱っている人とは取引ができないし、また、友人にそれを勧めることもできません。

### ロータリアンと純銀は同義語

こうしてより高い基準を考えだし、それを実際に履行

する必要性が、だれの目にも明らかとなってきました。ビジネスにおいて、ロータリアンという言葉は“純銀”と同義語でなければならないということになったのです。

これこそ私たちが今、職業奉仕と呼んでいるものの萌芽であると確信します。そして、この芽は最初のロータリークラブで芽生えたものです。それはまた、友情と商売を混ぜ合わせたことから生まれる必然的な結果でもあったのです。

最初の「ロータリーの綱領」が採択されたアメリカ・ミネソタ州デュルースでの1912年国際大会、そして国際ロータリークラブ連合会が、道徳律を採択した1915年のサンフランシスコ国際大会では、他の人に対する実業人の義務が主要な議題となりました。

1915年の国際大会採択の道徳律の序文は、ロータリアンに“人間の理想と業績のレベル”の絶えざる向上を目指して努力するよう求めたものです。この序文のあとには、実業人としての言行についてロータリアンが守るべき11項目の義務が明示されています。当時のロータリアンにとっては、これは相当強い薬でしたが、彼らはそれを飲んだのです。

### 職業は社会に奉仕する機会

これでわかりのように、ロータリアンは既に40年前(1915年を指す)、ロータリーの職業面を非常に真

剣に考えていました。私たちのすべてが今、同じように真剣に取り組んでいるのでしょうか？ ほかの人もそうするように説いているのでしょうか？

1916年オハイオ州シンシナティでの国際大会、そしてそれ以降の国際大会で、同業種あるいは関連業種に携わるロータリアンの会議が開かれました。これらの会議では、ロータリアンの道徳律に基づいて事業および専門職務の基準を高めることが取り上げられました。ロータリアンによるこれらの会議の結果、数百に及ぶ同業組合、あるいは協会が生まれ、しかもその多くでロータリーでつくられた取引行為の基準が採用されたのです。

事実、直接、間接を問わずロータリーは実業人の間に、各人の職業を社会に奉仕する機会として、広く自覚させるのに大きな影響を及ぼしています。

1919年、ユタ州ソルトレークシティでの国際大会が閉幕した後、大きな花束を抱えた一人の老人が大会本部のあるホテルにやってきました。そして居合わせた私に向かって「失礼ですが、新聞でロータリアンの大会のことを知りました。あなたたちロータリアンは非常に良いことをしています。世界が本当に必要としていることを行っているのですね。感謝の印に、家の庭で摘んだこの花を大会にもってきたのですが、もう大会は終わったのですね。これをロータリアンの成功を祈る私の気持ちとして、あなたに受け取っていただきたいのですが」と言いました。

36年前に自分の庭の花をもってきてくれたその老人は、ロータリーが世界で必要としている“何か”をもっていることを証言してくれたのです。私たちは今でもその“何か”をもっているのでしょうか？ 世界は今でもそれを必要としているのでしょうか？ では私たちは世界のために成さなければならないことをしてきたのでしょうか？ そして今でも奉仕をしているのでしょうか？

私はそうは思いません。私たちのしていることは正しいのですが、あまりにも些細なさいさいことなのです。世界人口が1年に3,000万人も増えている時代にあって、私たちは今している以上のことをする必要があるので。

### 人間関係の黄金律

20世紀半ばは、なんと不幸で恐ろしい世界でありましょうか。それは奉仕の理想で受け入れ、実践しているロータリアンやそのほかの人たちがその理想を放棄したからではなく、それに耳を貸そうとする人々があまりにも少ないからであります。この理想とそれが指し示す生活態度は、すべての主だった宗教に見られる人間関係の黄金律なのです。

この黄金律が豊かさ、健康、正義そして平和への道を示すものであることを、すべての国のすべての人たちにわかってもらうのがロータリーの目的なのです。皆さんのクラブにも私のクラブにも、そしてすべてのクラブに、この目的達成を手助けする人たちがいます。全世界の数多くのロータリアンが助力するとき、ロータリーは人類を幸福と平和と繁栄に導く人間関係において真に生きた力となるでしょう。

すばらしい可能性に満ちた事業と専門職務に就いている40万人(現在は120万人)のロータリアンがいます。その可能性は、団体活動ではなく、会員一人ひとりの絶えざる、そして人々を納得させる行動の中にあるのです。皆さん、私たちの職業奉仕、クラブ奉仕、社会奉仕そして国際奉仕を積極的に実践しようではありませんか。

そして「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という使命をもっていることを、一人ひとりが認識するまで、ロータリーの目標をしっかりと銘記していようではありませんか。人間関係に根差すすべての問題の解決は、他人とのあらゆる触れ合いにおいて奉仕の理想を受け入れ、実践する一人ひとりのロータリアンにかかっているのです。

これがロータリー運動の崇高な目的です。目的はこのように簡明なのです。

\* 原文は「WE ALL PROFIT MOST WHEN WE ALL SERVE BEST」で「すべての会員が最もよく奉仕するとき、すべての会員が最も多く報われる」と、当時は訳されています。

### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。



# 私にとっての職業奉仕

10月は職業奉仕月間です。ロータリアンにとっての基本は、職業奉仕とされています。しかし、職業奉仕は難しいとか、わかりにくいとも言われます。ロータリアンは、どのように考えているのでしょうか。それぞれの職業奉仕観をご紹介します。

## 「人生の語り部」 を目指して

東京中野RC 日野 晴雄

職業分類 医療教育 入会 1987年9月



長年、専門学校の経営を業としてきましたが、ロータリー歴18年のキャリアの中で、職業奉仕の理念を最も素直に理解、実践できる環境に恵まれたと感謝し、このロータリーの思想を広く伝播することが使命、と痛感しております。

特に、少子化が進み、国力の衰退を危惧せざるを得ない日本の将来を考えたとき、未来を担う青少年の教育のさらなる充実が焦眉の急務であり、憂えるべきニート対策も、ぜひとも必要と考えております。

昨年末、わが地区提唱の「地域の要請に応じて講師を派遣」活動に対し、本年2月、中野区立の中学から総合学習の時間に2年生に対し講演をしてほしい、との依頼が届きました。タイトルは「君は未来に夢を持っているか」でしたが、14歳の中学生に、未来の夢の話は大難題。50分間で何を伝えるか悩んだ末、小生が歩んだ人生の足跡を、失敗も成功も包み隠さず話してみよう、その中から何かをつかんでくれれば大成功、と決心しました。

下手な説教や訓話を子どもたちが喜ばないのは明白、ならば波瀾万丈の67年の人生経験を赤裸々に語ることで、親や先生からも聞いたことのない「人の生きざま」を伝えられれば、そこから何かを感じてくれるはず、と考えたのです。

3月に入り、学校から感謝と感想の文集が届きました。素直な感想と豊かな感受性に驚かされながら読み返し、いつでもお役に立てる語り部になろう、これが私の職業奉仕だ、とひそかに心に誓っている今日このごろです。

(第2580地区 東京都)

## よろこんでもらう よろこび

倉吉RC 森 和美

職業分類 紙器加工 入会 2002年6月



私はロータリー歴4年目と日も浅く、よく理解していないまま、職業奉仕委員長を拝命してしまいました。

弊社は、パッケージ(紙箱など)を製造する小さな町工場です。20年前に独立し、当時会社のキャッチフレーズは「物流のコーディネーター」、それを目指していましたが、5年ほどたったころ、いろいろと不幸に見舞われました。

そのとき、スイカ作りをしておられた老人との出会いがあり、その方が私に「この歳で額に汗するのはお金のためではない。毎年自分の作ったスイカをガブッと食べ“なんとおいしい!”と喜んでくれる、そんな人たちがいる。その人たちのために今年も汗するんだ」

その言葉を使わせていただくお願いをし、社是を「よろこんでもらうよろこび」に変えました。そして迷ったとき、困ったときの判断基準をこれに置き、今日までやってきました。

次の世代に目を向けてほしい一心で始めた、第三セクターの町づくり会社赤瓦(株)の設立に深くかわり、礎として民芸店、喫茶、今年は鳥取二十世紀梨記念館内にミュージアムショップ(売店)をオープン。また、社内では鳥取の特産品を活用した因州和紙製品の加工や、ナシやラッキョウ、白ネギなどの加工品もOEMで作っています。

一見、本業以外のようなようですが、本業あればこそです。本業をしっかり守りながら、かかわる大勢の人たちに「よろこんでもらう」ことができれば、私なりの職業奉仕になるのかなと思います。

(第2690地区 鳥取県)

## 職業を通じ人々に還元

名取RC 小幡 徳幸

職業分類 社会福祉 入会 1980年4月



「助けてください……」と50歳前後の女性が私の事務所に駆け込んできました。「どうしました？」とにかく中に入ってお話を……。事情をうかがえば、子どものいないその女性は、夫が亡くなって四十九日の法要の席上、亡夫の兄弟2人から遺産分割を迫られ、びっくりして相談に来たということでした。当時、私は司法書士を専門職としておりました。

細かい内容をうかがった後「生前、何かご主人が言い残したことはありませんでしたか」と問うと、バッグから1枚の便せんを出されました。「覚書」に始まり「財産はすべて君に贈与する」旨の文言で、遺言書とも、書き置きとも見られる内容でしたが、女性には遺言書に認定される可能性があることを助言、家庭裁判所に「遺言書検認の申立」または「遺言書確認の申立」の手続きを試してみる価値があること、亡夫の兄弟に関係なく、その方自身の単独行為によって遺産処理ができることを詳細に説明しました。

3か月ほどたったころでしょうか。「ありがとうございました。遺言書として裁判所から認めてもらいました」と満面に笑みを浮かべた女性から感謝を受けました。

職業奉仕とは、専門とする職業を通じ、そのノウハウを必要とする、あらゆる人々に還元して差し上げる行為である、と私は考えています。「四つのテスト」はほかにない節理が身に染み、ロータリアンであることの誇りを感じました。(第2520地区 宮城県)

## 3つの理念

大阪ユニバーサルシティーRC

高野 幸雄

職業分類 ホーロー 入会 2003年2月



私はロータリアン3年生の新参者でもあり、四大奉仕の中でも、職業奉仕に関しては言葉の解釈の段階から苦慮する始末でした。今年度、職業奉仕委員長を拝命することとなり、自分なりに言葉を解釈し、微力ではありますが、私心として実践している事柄を紹介します。

まず、職業奉仕という言葉をもとに、3つの理念を掲げました。一般企業経営者としての考え方で皆さまと合致しない点はご容赦を。①仕事を全うし、適正な利益を上げ、納税義務を果たすことで国家、地域へ貢献すること。②事業を拡大することで、働く場を拡大

提供すること。③より良い商品やサービスを創造普及することで、豊かな社会生活に寄与すること。

以上を3つの理念とし、まず身の回りから周知すべく、自社の会議や朝夕礼など、事あるごとに経営理念として話し、理解してもらうようにしています。また、将来を担う子どもたちにこの理念、そして働くことの意義を理解してもらうよう、積極的に小学生らの職場見学会を誘致し、仕事の大変さを体感してもらい、意見交換する場を設けるようにしています。

一方、他企業と協力し新会社を設立、新しい仕事を創出することで前述の3つの理念の具現化を行っています。こと職業奉仕活動に関しては、さらにロータリアンのかかわる企業や団体の交流を活性化し、相互の事業拡大、新事業創出などで、社会貢献することが可能になるのでは、と考えます。(第2660地区 大阪府)

## 転ばぬ先の杖

木曾RC 奥原 秀孝

職業分類 司法書士 入会 1998年10月



ロータリークラブに入会した当時、私にとってはわからない、聞きなれない言葉との出会いの連続でした。今もって、それらの言葉を正しく理解できているかどうか心もとない状況ですが、中でも「職業奉仕」という言葉は、とりわけ私の脆弱な理解力・思考力を翻弄するに十分なものがありませんでした。職業の目的は利益の追求、奉仕とは自らの利益を忘れ相手に尽くすこと、と極めて短絡的な認識しか持ち合わせていなかった私の頭の中に、この「相反する」と認識されていた2つの言葉が、2つ並んで入ってくることは容易ではありませんでした。

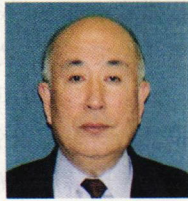
その後、機会を得てロータリー精神を学ぶ中、「職業奉仕」とは、自己の利益と相手、さらには社会の利益のバランスについて言っているのだと自分なりに理解し、ハタと感ずるものがありました。それは、社会の中で成功している企業、事業者は、このバランスにおいて優れていると指摘されていることです。職業奉仕とは、ある意味では、経営哲学の根幹を成すものではないかと思えます。

このことを正しく理解し実践する者は繁栄し、自らの利益に傾いた者は退場を余儀なくされる。ロータリアンならずとも、この理念を実践する者は多いと思われませんが、ロータリアンであることは絶えず「職業奉仕」の精神に親しみ日々を送ることができるのです。決して有能な事業者とはいえない私にとって、転ばぬ先の杖を得た思いであります。(第2600地区 長野県)

## ある職業奉仕

広島中央RC 小笠 邦久

職業分類 人材派遣業 入会 1997年4月



私には、多くのロータリアンと一つだけですが異なるものがあります。それは、52年前、当時市内に一つだけのロータリークラブ（RC）、広島RCの事務局員を、本来の職場である商工会議所の事務局員と、兼任したことです。

23～27歳の多感なころ「ロータリーとは何か」、よくわからぬままに「それは自分の職業を通じて、社会に奉仕するための団体である」という考え方を、いつのまにか頭の片隅に入れ込み、そういうことを考えるキッカケを得た、ということは何物にも替え難い幸運でした。

さて、人材派遣という仕事において、職探しをしている人にその能力に見合った職場を紹介でき、派遣先からも派遣社員からも感謝されると、この仕事の意義を認められたようでうれしいものです。

4年前に、広島大学へのまとまった数での派遣要請がありました。応募者の中に1人、聴覚障害者の女性があり、電話は取れないけれどパソコンもできて、職務には十分対応可能でした。最初は、大学から色よい返事がもらえませんでした。強く要請した結果、「引き受けましょう！」という課長の明るい声に、わが耳を疑ったほどです。彼は部下を集め、彼女を引き受けるにはどうしたらよいかを相談、彼女に自分の唇の動きが読めるように、課長自ら机の位置をずらして対面すればということで、話がまとまったとのこと。お礼を言う私の声は涙声になっていました。ここに、ある職業奉仕の姿を感じました。

(第2710地区 広島県)

## 近江商人の理念と職業奉仕

壬生RC 栗原 信明

職業分類 幼稚園 入会 1980年11月



近江商人の理念は売り手よし、買い手よし、世間よし、という三方よし、です。二宮尊徳も「すべての商売は、売って喜び、買って喜ぶようにすべし」と言っています。

孔子の『論語』の中に「恕」という言葉があります。漢和辞典を引いてみると、自分のもっているやさしさ、思いやり、ぬくもりのことを言うのだと書いてあります。

孟子は孔子の言う「恕」という言葉を「忍びざる心」と表現しました。他人の悲しみや苦しみを見るに「忍びない心」、何とかしてあげたい、こういう心を使うのだ

そうです。川の辺りを幼子が歩いていた、足を滑らせて川に落ちそうになっているのを見たとき、「危ない、助けなければ」と衝動的に駆け出していくでしょう。この駆け出していく心がすなわち「忍びざる心」なのです。

近江商人の「三方よし」というのは、まさしくこの心に当てはまる言葉ではないでしょうか。売り手よし、買い手よし、世間よし、これを言い換えれば自分よし、相手よし、社会よし、ということになります。「恕の精神」「忍びざる心」というのは、私たち日本人の美風・美徳であって、これをロータリーでは「職業奉仕」と言っているのではないのでしょうか。

今の日本、残念ながら売り手よし、すなわち自分よし、だけが前に出てしまっているのかなあ、と思います。

(第2550地区 栃木県)

## 子どもに大きく楽しい夢を

和歌山西RC 寺坂 義章

職業分類 幼稚園 入会 2000年8月



私は寺の住職、私立幼稚園の仕事と2つの立場で務めています。幼稚園では、人間形成の基礎として体育、知育、徳育に力を入れなければなりません。園舎、施設、教材などを完備すること、教職員全員が内容の充実した保育ができること、こうした環境づくりに努めることが私の仕事であり、また職業を通しての社会への奉仕であります。

特に、少子化が進んでいる中、従前とは異なる難しい課題が山積してきました。子どもも保護者も孤立しがちで、人と触れ合う力が乏しいようです。家に閉じこもらず、いろいろな人と触れ合える環境づくりが必要でしょう。幼稚園の子以外の地域の子どもへも、園をセンター的性格の集まりの場として年に何度も提供し、誰でもいつでも、来園して下さって一緒に子育てをしませんか、と呼びかけてもいます。

私の父は「人間、夢をもたなければ」と口癖のように語り、私はそういう父の後ろ姿を見て育ってきました。幼稚園は保護者と力を合わせ、子どもに大きく楽しい夢をもたせる所でありたいと願っています。園舎、施設、保育、行事……すべてが夢育ての大きな仕掛けとなるよう努めています。おかげさまで、礼儀正しくあいさつができて、友達と仲良く遊ぶ子が育ちつつあるのを、喜んでいきます。

今後も、一人でも多くの方に喜んでいただける園づくりを全うすることが、職業を通じて社会に貢献することだと思っております。

(第2760地区 愛知県)

## 顧客に満足を与え 喜んでいただく

蘭越RC 新見 健

職業分類 ホテル 入会 1969年12月



私がロータリークラブ入会の誘いを受けたのは、クラブ創立の翌年、1969年秋のことでした。

28歳の若年で、ロータリーの知識や活動について、ほとんど理解しておりませんでした。当時は、分区単位で Intercity and Club General Forum (ICGF) の勉強会に出席しても、国際奉仕や社会奉仕については何となくわかるような感じでしたが、職業奉仕についてはどうも理解できなかつた、との印象がありました。

ただ、諸先輩の話を聞いているうちに、己の職業を通じ、顧客に満足していただいたり、喜んでいただくために誠心誠意を尽くすことなのか、と理解したところでした。

私は、北海道のスキー場で有名なニセコ地域で、父祖から受け継いだ小さな温泉宿を営んでおります。4年ほど前、朝日新聞の温泉特集の中で、全国温泉ベストテンにも選ばれた良泉に恵まれ、明治の末から神経痛やリュマチなどに病む大勢の人々のお役に立ってきました。しかし、大半の方々は入浴の正しい知識や心得がないまま、むやみに何回も入浴を繰り返したり、自分の体に適応しているのか否かも理解せずに利用していらっしやいます。

そこで私は、職業奉仕活動として、一般の人々にもわかりやすい解説書『温泉療養—その意義と上手な活用のしかた—』という小冊子を、温泉療養の専門図書を参考にして作成しました。現在も版を重ねながら無料にて配布、多くのお客さまに喜んでいただいております。

(第2510地区 北海道)

## 「四つのテスト」は 実践の第一歩

加古川RC 伊藤 基司

職業分類 有線放送 入会 1995年10月



日ごろ、職業奉仕を思い、例会で「四つのテスト」を斉唱するにつけても、その理念と実践のギャップの大きさを痛感します。

職業奉仕の理念は少なからず理解できても、実践とは具体的にどんなことをすればよいのか。奉仕の心を磨き、自らを律して職業を行って行けば、それすなわち職業奉仕の実践であると言われる。しかし、具体的な奉仕行為を例証することは非常に困難です。

奉仕の実践として、私たちはまず具体的に何をなすべ

きか。そこで、やはり「四つのテスト」は職業人の行動を律するためのチェックポイントです。これを実行しているかどうか、実践の第一歩、あるいは実践そのものでありましょう。またこれを、周囲の人々に普及、徹底するのも、重要な実践です。

この「四つのテスト」の実行に際して、ハーバート・テラーの自伝にあるように、すべての仕事上の問題点に充当し、方針・方法を定めることは極めて困難です。また事業経営は、この「四つのテスト」の実行だけでうまくいくとは思えません。経営には戦略・戦術、ノウハウが必要であり、固有の社是・社訓もあるでしょう。

私たちは無意識に横道にそれ、正道を踏み外すことがあります。「四つのテスト」は常に正道を歩むための強力な道しるべであり、その実行により奉仕実践の第一歩を踏み出すことができるでしょう。(第2680地区 兵庫県)

## 気軽に実践

横浜港南RC 碓井 興一

職業分類 放送事業 入会 2002年9月



「奉仕活動」というと、戦時中の勤労奉仕を連想させ、暗いイメージを与えます。英語のサブ、サービスの明るい響きとは逆に、日本語の奉仕には古臭さがつきまとい、大きな落差を感じておりました。

また奉仕は、あたかも無償の、滅私・無私のものである、という意味では自己犠牲につながる、厳しいものを求めるような印象を与えます。凡人である私は、かような崇高な精神を求められてもとてもできず、尻込みしてしまいます。

しかし、「ロータリーでは、滅私・無私ということを目指しているのではなく、自分あつての他者、他者から学ぶ自分というものを基本に置き、自分を高めていこうとする姿が、他者にも良い影響を与え、結果、周りの人に奉仕をしているのと同じことになる」と教えることになり、解釈することで、気持ちが楽になりました。

なるほど、自分を高めることは本来的には自分のためであるのですが、それが回り回って周囲にも良い影響を与えることとなります。それを奉仕と呼んでもよいのではないかと、しかも職業人としての自己を高めるといことは、何も特別なことを求められているわけではなく、自己の信じる道を、職業人としての誇りをもって、淡々と歩むということなのであれば、私だってできないことではない、と理解しました。難しく考えないようにすることで、取り組んでいきたいと思っている今日のごろです。(第2590地区 神奈川県)

## 良心に恥じない行動

桑名北RC 後藤 義武

職業分類 水道工事 入会 1996年7月



私の職業は、管工事業です。職業奉仕は「職業を通じて社会に奉仕する」と定義されていますが、そういった意味では、市民の方々のための大切な「水」を、安全に、安定的にお届けするという奉仕活動を、毎日自分の仕事を通じて実践していけるということに、自分の天分であるのかなあ、と大変なありがたさを覚えています。

年に何回か回ってくる修繕当番のある日、冬の大変な寒さのときでしたが、下半身水につかりながら、何時間もかかって道路の水道管の修理をさせていただいたこともありました。こういった経験は何度もありますが、水道業という職業も、つくづく社会生活における分業の一つの担い手であると感じています。そういった苦労も、市民のために奉仕することの喜びと感じると、自分の水道業という職業の社会的意義を知ることになり、誇りとなっていきます。

「人のために尽くす道はいろいろありますが、日常不断にできるのは、自分の職業を通じてのサービスだ。その実践こそロータリーの本領である」と言われたパストガバナーがいらっしゃいましたが、常に、使っていただく市民のためを思いやり、職人として技術を磨き、自分の良心に恥じない行動を守り続けることも、職業奉仕の一つではないかと思えます。(第2630地区 三重県)

## 顧客満足を得る

東知多RC 村瀬 竜雄

職業分類 電気工事業 入会 1996年3月



私にとって初めての職業奉仕委員長の年度です。何が職業奉仕なのか私自身よくわからない状況ですが、漠然と職業を通じての奉仕行為と考えています。つまり、私どもの職業の内容を高め、品質とサービスを向上し、顧客の満足が得られるよう、毎年活動し継続することです。また、法令遵守とか公平性など、つい個人企業の立場では利己主義的判断をしがちの部分でも、基本を守ることには留意することです。以上の観点で、私の商売を通じて職業奉仕を展開できればと思いますが、これらは今思えば、職業奉仕としてとやかくお話しすることではなく、本来の経営者としてやらなければいけないことばかりで特にロータリーだから、ということではないようです。

特に毎回、例会で唱和する「四つのテスト」は単純で

当たり前のことなのに、自分の職業を通じて守られているかどうかと思うと、非常にあいまいな部分が存在します。後々後悔する場面の多くは、この基本が守られなかったためようです。基本を守った上での失敗は、これは仕方なく運が悪かったとして後悔しないようで、やはり最善を尽くした(四つのテスト的)判断には迷いがありません。

職業奉仕を通じて、社会の皆にロータリーの四つのテストがいき渡ればいいな、と考えていますが、実践では感情が伴い、なかなか難しいのが現状です。今年度は、日々職業奉仕を信条に活動したい、特別な年と考えています。(第2760地区 愛知県)

## 周りが第一 自分が第二

守谷RC 石澤 成浩

職業分類 電気サービス業 入会 2000年7月



私は、入会してまだ5年目の会員ですが、自分なりにロータリーを勉強してきたのは、わがクラブは少人数のため、役を兼任しなければならなかったからです。当初は、なんでこんなにボランティアに時間を割かなければならないのだろう、と疑問に感じましたが、年数がたつにつれ、ロータリーの精神、特に職業奉仕とはこういうことではないのかな、と感じるようになりました。

まず、奉仕と本業は別々のものだと思っていたのですが、奉仕が仕事につながり、仕事は奉仕の心がなければうまくいかない、と今では思います。私たちは目先の利益、モノやお金がすべてであり、また、いかに楽をしてモノやお金を得るかということをお教えられ、それが正しいことだと今現在も言われていると思います。利益を得るためならば、少しのウソはついてもよい、ウソくらいつけなければ大人ではないし、商売もできないとされますが、私は利益(利己)のためのウソはつきません。ウソをつくのは、そのウソが人のためになるかどうかを考えてから、ウソをつくようにしています。

仕事も奉仕も、人のために第一に、優先に考えないとうまくいかないと思います。その場(2~3年くらい)はうまくいっても、信用というものは偽りがばれば、なくなるものです。

これからも、周りの人が第一で、自分は第二、の精神で頑張りたいと思います。感謝。(第2820地区 茨城県)

### Annotation

OEM Original Equipment Manufacturer (Manufacturing) の略。製造元とは異なる企業のブランドで売られる商品。また、そのような商品の製造元のことで。